事　業　報　告

本報告は、公益財団法人天田財団の平成２８年度（平成２８年４月１日から平成２９年３月３１日まで）における事業報告を行うものです。

平成２８年度は天田財団創立３０周年記念事業の３か年計画の２年度目に当たり、助成事業の充実と「天田財団助成式典」、「天田財団産学交流会」を挙行しました。

本年度の事業内容としては従前通り、金属等の加工に係る優れた基礎技術の研究活動への助成を通じて学術及び科学技術の振興を促し、併せてその成果の普及啓発活動を行なう事によって、わが国の産業及び経済の健全な発展に寄与する事を目的に事業を推進してまいりました。

その他の業務についても順調に推移しており、以下に実施した事業内容をご報告いたします。

１．金属等の塑性を利用した加工及び高密度エネルギー下での諸特性を利用した加工に関する調査・研究に係る助成事業

１）研究開発に係る研究開発助成事業

国内の大学・大学院・高専、並びにこれに準ずる研究機関で行われる研究開発の内、当財団の対象とする各技術に関する研究開発及び調査を行う研究者からの応募に対し、選考委員会（別紙選考委員名簿）にて公平且つ厳正な選考の結果、当財団の選考基準にふさわしい助成テーマ６９件に助成金額　１億８，２９６万円を交付いたしました。

２）研究開発に係る奨励研究助成事業

国内の大学・大学院・高専、並びにこれに準ずる研究機関で行われる研究開発の内、当財団の対象とする各技術に関する萌芽的な研究を行う研究者からの応募に対し、選考委員会にて公平且つ厳正な選考の結果、先駆的研究を奨励するため、助成テーマ９件に助成金額８４０万円を交付いたしました。

２．金属等の塑性を利用した加工及び高密度エネルギー下での諸特性を利用した加工に関する研究に係る国際交流の促進及びその助成事業

1)　国際会議等開催準備に係る助成事業

国内の大学・大学院・高専、並びにこれに準ずる研究機関で行われる研究開発の内、当財団の対象とする各技術に関する国際会議、国際的な研究集会等の開催準備について、関連機関代表者からの申請のうち助成件数２件に助成金額　１００万円を交付いたしました。

2)　国際会議等への参加に係る助成事業

国内の大学・大学院・高専、並びにこれに準ずる研究機関で行われる研究開発の内、当財団の対象とする各技術に関する国際会議、国際的な研究集会等へ参加する研究者個人からの申請のうち前期・後期合計で助成件数２３件、助成金額　８０３．４万円を交付いたしました。

3)　外国人技術者の養成に係る助成事業

国内の大学・大学院・高専、並びにこれに準ずる研究機関で行われる研究開発の内、当財団の対象とする各技術に関する外国人技術者の養成にたずさわる研究指導者を援助するため、平成２８年度募集を実施し、助成件数２件、助成額３０万円を交付しました。

３．金属等の塑性を利用した加工及び高密度エネルギー下での諸特性を利用した加工に関する研究等成果の普及啓発事業

1)　成果報告書等の配布事業

研究開発助成事業、並びに国際交流促進助成事業によって得られた成果を、「天田財団助成研究成果報告書 Vol.29 2016」としてまとめ、国内研究機関等に１１００冊配布いたしました。

また、毎年度特集テーマを設定し、過去の成果報告の中から特集テーマに相応しく、かつ技術の向上と発展に効果が大きいと判断される研究を選考して、その研究者に改めて執筆いただいた論文を、機関誌「Form Tech Review」として配布している。

平成２８年度は執筆者３２名、１，１００冊配布いたしました。

2）　助成研究成果発表会の開催事業

日本塑性加工学会の春季講演会に併設して第１４回天田財団助成研究成果発表会を開催し、特別講演１名及び優秀論文賞に輝いた４名の研究者による発表講演とその表彰を行いました。

3）　天田財団創立３０周年を記念した出版物制作及び助成式典等の開催事業

天田財団創立３０周年を記念し、天田財団の歴史と助成研究成果をまとめた記念誌の制作並びに助成目録贈呈式及び招待講演からなる助成式典を行いました。

また、学術界と産業界の連携を深めるための契機となる場としての産学交流会を九州と北陸の２地域で実施した。

４．　そ の 他

事業の経緯については、「公益財団法人天田財団 平成２８年度事業概要報告」のとおりであります。